

国際粉体工業展 東京 2022 出展のご案内



2022 12/7(水)～9(金) 9:30～17:00
東京ビッグサイト 東 2 ホール 2I-08

コロナ防止の観点から、3年ぶりの出展となります。今回の「国際粉体工業展東京 2022」では、高機能材料の開発・製造を対象に、金属コンタミレスのセラミック製微粉碎機や H₂ や O₂、真空など雰囲気下で金属の変性処理を可能とした熱処理装置など、様々な新機種を出展いたします。是非、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

偏心セラミックディスクミル

●セラミック偏心ディスクを採用した回転磨砕式微粉碎機

偏心運動を行う粉碎ディスクと、固定ディスクの間に材料を供給し磨砕作用で微粉碎を行います。粉碎及び固定ディスクは CIP 成型されたセラミック製で、粉碎時の金属コンタミを防止します。両ディスクの間隙は粉碎ディスクの偏心運動によって強制的に狭められ、材料に対して強い圧縮磨砕力を与えます。発熱が少なく効率の良い微粉碎が可能です。



サニタリー式加熱ドラムミキサー

●ドラムミキサーに加熱機能と簡易洗浄性を付加した軟式混合機

顆粒や造粒品を粉化・破壊せずソフト混合する、業界のロングセラー機ドラムミキサーUD シリーズに加熱機能とドラム分離機構を付加したミキサーです。混合槽の直胴部に電熱ヒーターを設置し、加熱と混合を同時に行います。また混合槽の排出口側は、鏡板と直胴部の分離後退が可能で槽内部の洗浄性を大幅に改善しています。



多目的水素ロータリーキルン

●高温 H₂ や高温真空下の反応、金属変性処理に対応した回転焼成炉

高温かつ真空・水素ガスなどの特殊な雰囲気下で、原料を流動させながら反応処理が可能な装置です。ロータリーキルン本体と、真空ポンプ及びガス供給ユニットから構成されます。レトルト回転によって原料が流動し、均一な伝熱とガス接触・脱ガスが行われます。静置反応と比較して、品質の均一化や短時間で反応が完了などの特徴があります。



ファイバーミル

●繊維状原料の大量・連続処理剪断を可能とした、高速剪断粉碎機

多孔板内壁の 2 重円筒形の粉碎槽内に、3 式の多段固定刃と、高速回転する多段回転刃が積層配置された回転剪断式の粉碎機です。粉碎槽へ供給された繊維・綿状原料は、高速回転している回転刃と固定刃により剪断力を受けて細断・短繊維化され、槽内壁の開孔部から微細化した粉碎品のみ吸引排出します。連続的に繊維大塊の処理が可能です。

